

音声学の学習に役立つウェブサイト，音声資料などの紹介

2016年6月1日 改訂

『音声学』の本文では，日本人学習者が心得ておくべき調音上の留意点をできるだけ詳細に記述してある。しかし，やはり，実際に聞いてみるのが望ましい。現在ではCDのみならず，インターネット上などで各種の音声を聞くことが可能になっている。以下に，音声を聞くことができるものも含め，音声学に関するさまざまな情報を入手できる資料をいくつか紹介した。大いに利用していただきたい。この文書以外にも利用に便利のように，一覧のエクセルファイルも用意したので活用されたい。また，本文では紹介できなかった音声学関係の雑誌や上級向け参考書，音声学者や音声学科のサイトなどもここに挙げておくので，参考にしていただきたい。

1. インターネットのウェブサイト

*注：ウェブサイトのアドレスは予告なしに変更されることがあるので注意されたい。
また，サイトによっては利用者登録が必要なこともあるので確認されたい。

- The International Phonetic Association(IPA) (国際音声学協会)
<https://www.internationalphoneticassociation.org/>
- The UCLA Phonetics Lab (カリフォルニア大学ロサンゼルス校音声学実験室)
<http://www.linguistics.ucla.edu/faciliti/uclaplab.html>
- John Wells's Home Page (ロンドン大学ユニヴァーシティ・コレッジ音声学名誉教授
ジョン・ウェルズのホームページ)
<http://www.phon.ucl.ac.uk/home/wells/>
- John Wells's Phonetic Blog (ジョン・ウェルズの音声学ブログ)
<http://phonetic-blog.blogspot.jp/>
- Jack Windsor Lewis's Home Page (音声学者ジャック・ウィンザー・ルイスのホームページ)
<http://www.yek.me.uk/>
- Jack Windsor Lewis's PhonetBlogs (同ブログ)
<http://www.yek.me.uk/index.html>
- John Maidment's Blog (音声学者ジョン・メイドメントのブログ)
<http://blogiam.name/>
- British Association of Academic Phoneticians(BAAP) (英国理論音声学者協会)

<http://www.baap.ac.uk/>

- *Manual of Articulatory Phonetics* by William A. Smalley (各種の音声産出訓練のための優れた教本であったが、現在は書籍、テープとも入手不可。以下のURLから音声を聴くことができる。)

<http://bach.arts.kuleuven.be/MOAP/>

- IPAモジュール (東京外国語大学)

<http://www.coelang.tufs.ac.jp/ipa/>

- University of California, Berkeley Phonology Lab (カリフォルニア大学バークレー校音韻論実験室)

<http://linguistics.berkeley.edu/phonlab/>

- Keith Johnson's phonetics videos (カリフォルニア大学バークレー校の音声学者キース・ジョンソンがDaniel Jonesのcardinal vowelsをはじめ、音声学に関するさまざまな映像を集めたもの)

<https://www.youtube.com/user/keithjohnsonberkeley>

- Website for Roach(2009) (音声学者ピーター・ローチの著書のサイト。プロソディーに関する講義の映像、音声学用語集などさまざまな有益な情報を提供してくれる。)

<http://www.cambridge.org/elt/peterroach/resources.htm>

- Website for Collins and Mees(2013) (*Practical Phonetics and Phonology*, Third Edition) のサイト)

http://routledgetextbooks.com/textbooks/_author/collins-9780415506496/

- University of Oxford Phonetics Lab (オックスフォード大学音声学実験室のサイト)

<http://www.phon.ox.ac.uk/>

- John Coleman's website (オックスフォード大学音声学実験室のコールマン教授のサイト)

<http://www.phon.ox.ac.uk/coleman>

- University of Cambridge Phonetics Lab (ケンブリッジ大学音声学実験室のサイト)

<http://www.ling.cam.ac.uk/phonetics/>

- Francis Nolan's website (ケンブリッジ大学音声学実験室のノーラン教授のサイト。法音声学の分野に関係する各種サイトにリンクされているのが特徴)

<http://www.ling.cam.ac.uk/francis/>

- Speech, Hearing and phonetic sciences at UCL (ロンドン大学ユニヴァーシティ・コレッジ言語・聴覚・音声科学科) さまざまな音声学ソフトのリストが掲載されているサイトにリンクされている。

<http://www.phon.ucl.ac.uk/resource/software.php>

- University of York phonetics and phonology (英国における音声学研究の拠点の1つであるヨーク大学言語・言語科学科の音声学・音韻論研究のサイト)

<http://www.york.ac.uk/language/research/phonetics-phonology/>

- Glasgow University Laboratory of Phonetics(GULP)(グラスゴー大学音声学実験室 のサイト)
<http://www.gla.ac.uk/schools/critical/aboutus/resources/gulp/>
- International Society of Phonetic Sciences(ISPhS) Website (世界規模の音声学者の団体のウェブサイト。原則として4年に一度開かれる国際音声科学会議を主催する。このサイトで機関誌 *The Phonetician* も閲覧できる)
<http://www.isphs.org/>
- ToBI (イントネーションその他の音律現象の分析に用いられる表示体系の代表的なもの)
<http://www.ling.ohio-state.edu/~tobi/>
- The IViE Corpus (英国諸方言のイントネーション分析で頻繁に言及されるサイト)
<http://www.phon.ox.ac.uk/files/apps/IViE/>
- 東京外大言語モジュール (さまざまな言語の音声が聴けるサイト)
<http://www.coelang.tufs.ac.jp/modules/>
- 英語音声学のページ (中央大学牧野武彦氏のウェブサイト)
http://www005.upp.so-net.ne.jp/takeh_m/
- 東北大学大学院文学研究科言語学講座の後藤斉教授のウェブサイト (音声学に関する有益な情報が得られる。リンクも充実している)
<http://www.sal.tohoku.ac.jp/~gothit/gothitj.html>
- 日本音声学会のホームページ
<http://www.psj.gr.jp/jpn/>

2. Audio CDやCD-ROMが付属している書籍など

- Collins, Beverley and Inger M. Mees(2013) *Practical Phonetics and Phonology: A resource book for students*, Third Edition, Oxon: Routledge.
- Hughes, Arthur, Peter Trudgill and Dominic Watt(2005) *English Accents and Dialects: An Introduction to Social and Regional Varieties of English in the British Isles*, Fifth Edition, London: Hodder Education. (5版からは出版社サイトから録音音声が聴けるようになった。 <http://www.routledge.com/books/details/9781444121384/>) .
- Ladefoged, Peter and Keith Johnson(2015) *A Course in Phonetics*, Seventh Edition, Stamford, CT: Cengage Learning.
- Ladefoged, Peter and Sandra Ferrari Disner(2012) *Vowels and Consonants*, Third Edition, Chichester: Wiley-Blackwell. (第3版からは出版社のサイトから音声や画像を見聞できるようになっている。 www.wiley.com/go/ladefoged)
- Roach, Peter(2009) *English Phonetics and Phonology: A Practical Course*, Fourth Edition, Cambridge: Cambridge University Press.
- Wells, J. C.(2006) *English Intonation: An Introduction*, Cambridge: Cambridge

University Press.

- Wells, John and Jill House(1995) *The Sounds of the International Phonetic Alphabet*, University College London.

Audio CDやCD-ROM付きの発音辞典として以下の2冊がある.

- Jones, Daniel(edited by Peter Roach, Jane Setter and John Esling)(2011) *Cambridge English Pronouncing Dictionary*, 18th Edition, Cambridge: Cambridge University Press.
- Wells, J. C.(2008) *Longman Pronunciation Dictionary*, Third Edition, Harlow: Pearson Education Limited.

音声CDなどは付いていないが、21世紀の口語英語の発音を英米対照で記述した発音辞典として、つぎのものがある.

- Upton, Clive, William A. Kretzschmar, Jr and Rafal Konopka(2001) *Oxford Dictionary of Pronunciation for Current English*, Oxford: Oxford University Press.
- なお、第2版がRoutledgeから今年末に出版予定.

日本語のアクセント辞典として以下の2点を挙げておく.

- 金田一春彦監修 秋永一枝編(2010)『新明解日本語アクセント辞典』CD付き. 三省堂.
- NHK放送文化研究所編(2016)『NHK日本語発音アクセント新辞典』NHK出版.

3. パソコンで使用可能な音声分析ソフト (無料)

代表的なものを2点挙げておく.

Praat: doing phonetics by computer(Phonetic Sciences, University of Amsterdam)

<http://www.fon.hum.uva.nl/praat/>

Wavesurfer

<http://www.speech.kth.se/wavesurfer/>

4. 上級向け参考書

本書各章の「より深く勉強したい人のために」で取り上げた以外の参考書.

- Hardcastle, William J., John Laver and Fiona E. Gibbon(eds.)(2010) *The Handbook of Phonetic Sciences*, Second Edition, Chichester: Wiley-Blackwell.

音声学研究の現況をさまざまな角度から論じたハンドブック.

- Pisoni, David B. and Robert E. Remez(eds.)(2005) *The Handbook of Speech Perception*, Oxford: Blackwell.

本書では取り扱えなかった音声知覚について包括的に概観している.

- Jones, Mark J. and Rachael-Anne Knight(eds.)(2013) *The Bloomsbury Companion to Phonetics*, London: Bloomsbury Publishing.

音声学を理論面・応用面にわたり全般的に取り扱った最新の一卷本論集.

- Reed, Marnie and John M. Levis (eds.)(2015) *The Handbook of English Pronunciation*, Malden, MA: John Wiley & Sons.

英語の発音に関わる包括的ハンドブック。世界の主要な英語変種の発音，音声獲得，発音教育などさまざまな視点から英語発音の諸相を概説している。

5. 音声学関係の雑誌

代表的なものを4点挙げておく。音声学の各分野の最新の情報を得るのに役立つ。

- *Journal of the International Phonetic Association*
- *Journal of Phonetics*
- *Language and Speech*
- *Phonetica*

- より高度な「音響学」に関するものとしては， 次のものがある。

Journal of the Acoustical Society of America

- また， 「音声言語」とりわけ犯罪捜査などに関わる「法音声学」関係の雑誌として，
International Journal of Speech, Language and the Law
が挙げられる。

- 「臨床音声学」分野にとくに関わるものとしては，
Journal of Speech, Language and Hearing Research
がある。

- 音韻論との接点領域である「実験音韻論」の雑誌として， 次のものがある。
Laboratory phonology

- 国内で発行されている代表的なものとして， 日本音声学会の学会誌
『音声研究』
がある。